



FAMIC(ファミック)

独立行政法人 農林水産消費安全技術センター

FAMIC メールマガジン 第1062号 (一部抜粋)



令和7年3月19日



5. ◇◇ 最近の話題・キーワード ◇◇

◆ 新しい試験方法 JAS が制定されました ◆



2025年1月、新しく2件の試験方法 JAS が制定されましたのでご紹介いたします。

1つは、食品における相対モル感度を利用した定量法に関する一般要求事項 (JAS 0031)、

1つは、米中の 4-アミノ酪酸 (GABA) の定量－高速液体クロマトグラフ法 (JAS 0032) です。

JAS 0031 は、分析対象とは異なる物質を基準とした定量法である「相対モル感度を利用した定量法」を開発・利用するための規格です。

通常、HPLC、GC などの機器を用いた定量分析では、分析対象成分の標準物質を基準として定量を行います。食品の機能性成分などでは、標準物質が市販されていないものも数多くあります。

この規格では、分析対象成分とは別の物質を基準にした定量法の開発が可能となる相対モル感度の決定方法、定量法の開発・利用時に検討すべき事項などを規定しています。基準とする物質として認証標準物質を用いれば、国際計量標準につながる信頼性の高い定量値を得ることも期待できます。

機能性成分の分析などで分析したい成分の標準物質が市販されていない、非常に高価であるとお困りの場合には、この規格をぜひご利用ください。

JAS 0032 は、米中の GABA の定量方法を定めた規格です。

GABA は血圧を下げる機能などが報告され、多数の機能性表示食品が届出されるなど、事業者の関心の高い成分ですが、これまで統一的な定量方法がなく信頼性の高い公定法の開発が望まれていました。

この規格の定量方法は、GABA をスルホサリチル酸で抽出し HPLC で測定するもので、国際的に認められた手順により複数の試験室が参加して得られた精度を含む妥当性が確認されています。そのため、信頼性の高い定量値が得られるとともに、その許容差を統計的に推定することが可能となっています。

GABA を含むコメの開発や品質管理に、信頼性の高いこの規格をぜひご利用

ください。

農林水産省 JAS 掲載 URL

JAS 0031: [PDF:930KB]

https://www.maff.go.jp/j/jas/jas_standard/attach/pdf/index-393.pdf

JAS 0032: [PDF:394KB]

https://www.maff.go.jp/j/jas/jas_standard/attach/pdf/index-394.pdf